

## 取扱注意

# 標準学力検査NRT（令和2年2月実施分） の結果について（報告）

資料1 令和元年度「標準学力検査（NRT）」結果

資料2 小学校NRT 標準偏差値経年変化

# 令和元年度 標準学力検査（NRT）結果

嘉麻市教育委員会 学校教育課

## 1 調査の目的

児童の学力を把握・分析し、学校における教育指導の成果と課題の検証やその改善に役立てる。

## 2 調査対象の学年

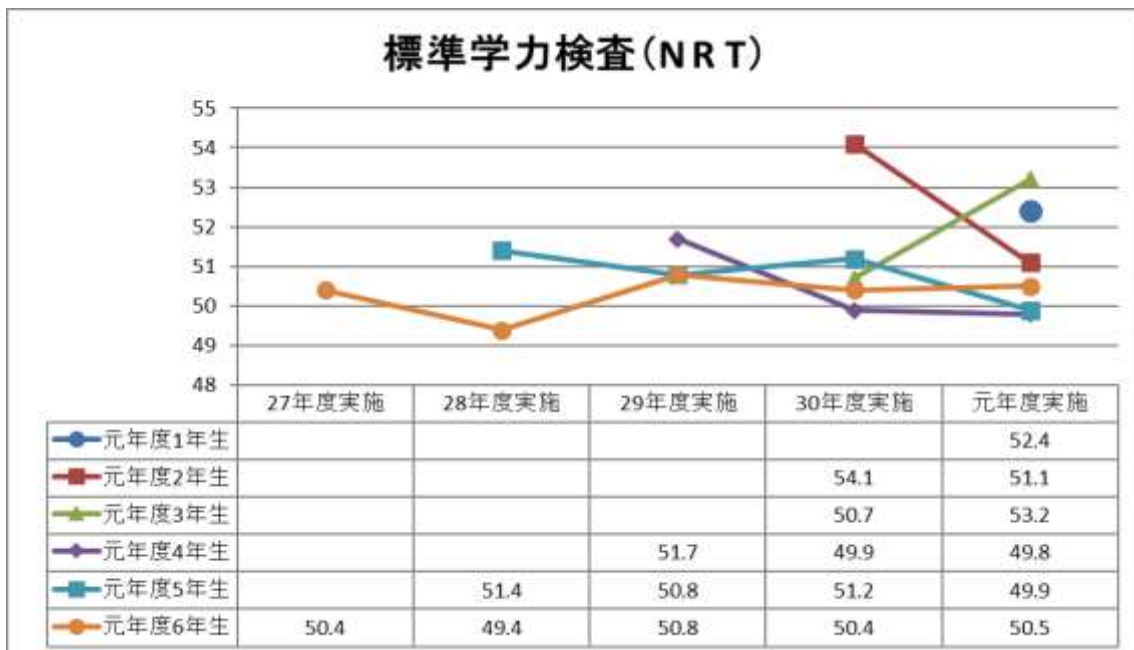
小学校第1学年から第6学年

## 3 調査の内容

前年度までの学習内容（国語・算数）

めざせ！標準偏差値（52）超え！！

	27年度実施	28年度実施	29年度実施	30年度実施	元年度実施
嘉麻市平均	50.8	50.7	51.5	51.4	51.1
標準偏差値との差異	0.8	0.7	1.5	1.4	1.1



- 標準偏差値（50）を超えることを目指して取り組んできた結果、24年度は（48.6）でしたが、26年度には（50）に達しました。元年度は（51.1）という結果であり、昨年度より0.3ポイント下降しているものの、6年連続（50）を超えることができました。

### 【成果】

- 各学校の課題を解決するための学力向上策の具体化を進めたり、「授業づくりの8つのポイント」をもとに授業づくりを推進したりした結果であるにとらえます。
- 基礎基本の確実な定着に向け、習熟度別指導の指導形態や指導方法の提示を行ったり各学校の取組のよさを交流したりして、習熟度別指導の推進を図った結果であるにとらえます。

### 【課題】

- 基礎基本の確実な定着にむけ、習熟度別指導の仕組みづくりや思考を伴う「書く活動」の取組が不十分な学校が見られます。

### 【改善策】

- 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を目標に、引き続き、形成的評価の充実と評価後の習熟度別指導の徹底を図ります。また、「書く活動」や「学習評価（ゴール）からの授業改善」を推進します。
- 学習習慣の定着を図り一人一人が伸びを自覚する学びを成立させるよう、個に応じた週末課題の提示を進めます。

【小学校 標準学力検査 NRT】

